

平成 25 年 7 月 8 日 全国知事会議（税財政関係）での
税源の偏在性の是正に関する主なご意見

- 地方法人特別税は暫定措置であるが、地方分権に逆行するものであり導入時から強く反対してきた。知事会としても改めて地方法人特別税の廃止、地方税としての復元を明確に求めるべき。
- 研究会において公平基準を含めて幅広い論点について検討いただいております。検討結果を知事会としてどのように受け止めて総意として反映していくかについては、しっかりと議論をしていく必要がある。
- そもそも税源偏在への対応は、交付税の法定率引上げによって行われるべき。消費税と地方法人課税の税源交換については、市町村も含めた企業誘致、地域経済活性化へのインセンティブを損なうものであり断固反対。
税源交換が一つの選択肢であることは認めるが、知事会の提言において「基本として」検討すべき選択肢との表現はちょっと強すぎる。
- 研究会素案中にある（表 1）「地方消費税引上げに伴う都道府県の歳入・歳出についての試算」について、地方消費税引上げ分が臨財債と相殺され、交付団体にメリットがないという主張であるが、臨財債の減は中長期的に交付団体にメリットがあることは明らかである。
また、不交付団体の社会保障関係費の需要額に、今後の高齢者の爆発的な増加や待機児童数、地価の高さなど東京都の実態が反映されていない。
この表については、知事会の資料として適切ではない。
- 研究会素案は、税の偏在是正ありきの内容であり、国が責任を果たすべき交付税の財源調整機能の検証が十分に行われることがないままに、地方税による偏在是正策のみが具体的に示されているものである。
これでは、地方財政の問題は地方間で調整すべきとの考えを助長しかねず、交付税削減の流れを加速化するものである。
- 早期に実施すべき改革として税源交換が提案されているが、内容は地方税である法人住民税を交付税原資として国へ献上する逆移譲に他ならない。
地方税の充実を主張してきたこれまでの知事会のスタンスとも大きく異なるものであり、知事会としてこのような内容を対外的に発していくことは適当ではない。
- 今後の社会保障関係費の増大を踏まえれば、偏在性の少ない地方消費税を引き続き充実させていくことは不可欠。その上でなお必要とされる財政調整については交付税制度で担うのが本筋。

知事会としては、まずは地方分権に逆行する暫定措置（地方法人特別税）の確実な撤廃・復元を求めた上で、改めて地方の役割に見合う地方税財源の確保・充実という原点に立ち返って、一致団結して行動すべき。

- 税源交換、地方共同税などの偏在性の是正策については様々な意見がみられるが、今回の税源交換案については、応益負担の原則に反するということや企業誘致のインセンティブが失われるということから反対。もう少し検討が必要なのではないか。
- 法人住民税法人税割においては市町村も含めて多くの自治体が超過課税を実施しているが、今回の税源交換案でその課税根拠が失われることとなった場合の代替措置などを含めた議論についても留意すべき。
- 消費税の引上げによって偏在性がさらに膨らむのは誰の目にも分かること。富裕団体の財の取り合いをということではなく、うまく団体間で調整することを一緒に考えていかないと、せっかくの税収効果が縮減してしまう。
政府・与党はプライマリー・バランスの数値目標達成を公約しており、いずれ交付税総額などの議論に関わってくる可能性がある。現実論として、団体同士がもっと折り合いながら偏在是正の努力をすべき。
- 研究会に続けて参加しているが、偏在是正策の検討は大変難しい話である。しかし、地方消費税の充実を現実に進めていくこと、また地方法人特別税を廃止すること、という話から出てきている話でもあるので、今回の税源交換案を基本とする方が良い。
- 今回の消費税引上げ議論の過程では、引上げ分は全部国税にして地方には交付税で配れば良いという意見もあったが、最終的には地方消費税の比率が大きく引き上げられて決着し、不交付団体のメリットが大きくなった。
こうした経緯にもかかわらず、偏在是正策には一切応じられない、それは交付税の問題だといってしまうと、次回の消費税引上げ分はやはり全部国税にして地方には交付税で配れば良いという話に戻ってしまう。
- 交付税がいつ減らされるか分からない不安定な状況の中、地方の安定的財源確保の観点から地方消費税 1.2%で決着した。何らかの偏在是正策を講じないとバランスが崩れていくという現実もあり、今後も偏在是正について検討を進めていくということをご理解いただきたい。
- 国・地方が共同で日本全体の公共サービスを提供している。偏在性の問題というより、国・地方を問わず財源がない異常な状況に対して地方全体としてどうしたら良いかという議論をすべき。